

令和5年度山口県埋蔵文化財センターの展示内容をご紹介します

ふるさと山口の歴史や文化の成り立ちについて知り、文化財の価値や魅力に触れる機会とするため、令和4年度に資料整理を実施した辻花遺跡の発掘調査の成果を展示・公開しています。また、特集展示「まいぶん名品展」を併設し、過年度調査の逸品17点を公開しています。

エントランスホールではスポット展示（上半期）として、石器の材料である大分県姫島産黒曜石についてご紹介しています。皆様のご来館をお待ちしています。

センター展示「掘っちょる山口 -のぞいてみよう 昔の暮らし-」

遺跡名	所在地	時代	遺跡の特色	展示品数
つじはな 辻花遺跡	田布施町下田 布施	縄文時代～室町時代	縄文時代のドングリ貯蔵穴や、弥生時代の矢板列・杭列および多くの土器などを発見。	70

見どころ

辻花遺跡からは、山口県で最も保存状態のよい弥生土器が多数見つかっています。煮炊きに使ってススがこびりついた甕、土器作りの作業でついた痕跡や繊細な文様を表面に残す壺などをぜひご覧ください。

特集展示では、顔を表現した出土品や弥生時代の土笛など、ふだん公開していない当センター所蔵の貴重な資料をご覧ください。

展示期間

令和6年3月8日（金）まで

スポット展示「海をわたってやってきた石」

見どころ

大分県姫島でとれる灰色の黒曜石を使った石器などが山口県でも多く見つかっています。精緻な作りの下村遺跡（美祢市）の大型石鏃や、田ノ浦遺跡（上関町）から見つかった黒曜石原石などをご覧ください。



下村遺跡の大型石鏃

展示期間

令和5年9月22日（金）まで

- ◆ 開館時間 午前8時30分～午後5時
- ◆ 休館日 土・日曜日、祝日、年末・年始
- ◆ 入館料 無料